

レポート作成のアドバイス

岡田耕一

〇はじめに

レポートを作成できない人はいません、作成の仕方を知らないだけです。最初は、レポートを思うように作成できなくて、苦勞するかもしれませんが、慣れれば素晴らしい能力、実力になります。将来、それぞれの職場で間違いなく活かすことができます。

(1) 現代社会で求められるもの

- 会話によるコミュニケーション能力
- 文書によるコミュニケーション能力

(2) レポート作成のための参考資料

- 「学習のしおり」の「レポートについて」・・・すべての基本です。
- 「レポート課題集」・・・各教員のアドバイスをしっかり理解しましょう。

※例1 参照

(3) 作文とレポートの違いについて

- 作文・・・自分の思ったことを素直に書くもの・・・主観的なもの
- レポート・・・報告(書)。資料をまとめるもの・・・客観的なもの

(4) レポート作成上の留意点・・・「学習のしおり」(短大部)より

①課題の要求していることに対して内容が合致してはなりません。

出題者が皆さんに何を学習させようとしているのか、その点を正確につかむことです。

⇒テーマを正確に理解してレポートを書きましょう。※例2 参照

②広範囲にわたり漠然とした課題については適当に限定します。

⇒抽象的な課題は具体的に解釈しましょう。※例3参照

③自分の述べたいと思うことをはっきりつかむことです。

これはレポートの根幹であります。自分の意志をはっきり明瞭に書くことです。特に、「〇〇について論述せよ」などとある場合は、絶対にこれが必要です。

⇒決して主観ではなく、資料を踏まえて客観的に述べてください。

④論旨は秩序良く配列してください。

一般的な論述構成は、自分の研究したいと思う部分、その問題を取り上げた理由、目的を述べて「序論」とし、次に研究の推移や観察の要領を述べた「本論」、その結果出た「結論」、という順序になります。本論の部分は皆さんの力の見せどころで、これによって如何に苦心し、考え、問題を追及しているかがわかるものです。インストラクターの最も力を入れて指導する部分も、この考察にあるわけです。

⇒ただし、課題レポートでは、本論がすべてと思ってください。※例4参照

⑤文章はていねいに、わかりやすく書いてください。

自分の考えを相手に通じさせることが大切です。

⇒レポートでは、内容と共にレポートとしての書式が大切です。

⑥レポートと試験答案を混同しないようにしてください。

レポートは皆さんの苦心と努力を書きつづる1つの論文です。これに対して試験答案は、理解したことの端的な報告であります。

⇒レポートとしての書式が大切です。

⑦文章を書く場合は楷書とし、常用漢字、現代かな遣いを用い、誤字、脱字のないように注意してください。

皆さんは大学生ですから誤字、脱字には特に注意し、行を改めるときには1字下げる、句読点は1字分とる等、文章の書き方にも注意してください。

⇒※「基本文の練習」参照

⑧できたら清書する前にもう一度よく目を通し、内容、表現ともこれでよいかを検討することは大切なことです。

誤りを発見し、訂正するという習慣をつけるように心がけてください。

⇒修正液を使用したら、必ずその上に書いてください。

⑨課題については、そのポイントは何か十分理解して、その目的にあった参考書を選んで、使用した参考資料（書籍名・著者名・出版社（発行所）・発行年月日）を記入してください。

⇒多くの文献を活用しましょう。

⑩鉛筆書きおよびワープロによって作成されたレポートは受理できません。

⇒学部は異なります。

⑪学部は1600字、短大部は2400字が基本です。

⇒執筆量が異なりますが、それぞれに難しさがあります。

基本文の練習

文章を書く上での基本的な約束を学びましょう。例題を解きながら、15のポイントを習得してください。15のポイントを意識しながら文章を書くだけでも、だいぶ上達します。

※谷川裕稔編著「保育者のための文章作成ワークブック」(明治図書)より抜粋

(1) 主語と述語を意識する①・・・長文を避ける(1文を短くする)

◎次の文をわかりやすい文にしてください。

①私は短大に入る前、保育者は子どもと遊んだり時には怒ったりするだけだと簡単に考えていましたが、短大に入って学ぶなかで、こんなことまで勉強するのかと思うようになりました。

(2) 主語と述語を意識する②・・・主語と述語のねじれ(不一致)

を避ける

◎次の文をわかりやすい文にしてください。

①私は、高校の総合学習の授業で保育園に行き、子どもたちといっしょに粘土遊びをしたので喜びました。

(3) 主語と述語を意識する③・・・主語と述語(結語)をできる

だけ近づける

◎次の文をわかりやすい文にしてください。

①私は、親と子どもが楽しく遊んでいる姿を見てほっとした。

(4) 「一文には一つの情報」を守る

◎次の文をわかりやすい文にしてください。

①子どもには、のびのびと楽しく自由に遊べる安定した環境や場所を与えられることが大切で、私は、それが保育者にとって援助する上で一番注意しなければならない点だと思います。

**(5) 「一つの段落には一つのテーマ」を守る・・・内容の異なる文
(内容の違う話) は一文でも改行する**

◎次の文章を改行しなさい。該当する部分に「/」をつけなさい。

最近の母親は子どもに対するしつけがなっていないと思う。私が書店に行った時、ひとりの子どもが音の出る本で遊んでいた。はじめは、まあ子どもだからと思ってがまんしていた。しかし、一向にやめる気配はなかったので、だんだんイライラしてきた。しばらくして、母親が子どもの方を見てひと言。「ほら、やめなさい。お姉ちゃん(私のこと)にしかられるよ」と言った。どうしてこの親は、周りの人を使って怒ったのだろうか。子どもに対する怒りよりも、この親に対して怒りがこみあげた。

(6) 結論を書いてから説明に入る

◎次の文をわかりやすい文にしなさい。

①幼稚園教諭は、よりよい社会人として子どもの模範になるべきだから、普段から自らの生活を清く保つべきである。

(7) 読点(、)の位置を意識する

◎①②に読点をつけなさい。

①まこと君は毎朝6時に起きて散歩をする。

②急に雨が降ってきたので子どもたちを園舎のなかに入れた。

**(8) 修飾関係にある語は近づける・・・修飾語は、修飾される語
(被修飾語)の近くに置く**

●修飾語とは

・修飾語・・・内容を詳しく説明、あるいは限定する語(文節)

・被修飾語・・・詳しく説明される、あるいは限定される語

※けっして(修飾語)→しない(被修飾語)

◎①②を訂正しなさい。

①けっしてよしこちゃんは、そのような悪いことをしない。

②かなり今回のテストは、よくできたと思う。

(9) 接続詞に注意する

●接続詞とは、前の言葉と後の言葉をつなぐ語です。

◎次の（ ）に入るのにふさわしい接続詞を後のア～オから選びなさい。

- ①雨が上がった。（ ）試合を続けた。
- ②窓を開けてください。（ ）、暑いからです。
- ③新郎新婦（ ）ご列席の皆さま、本日はまことにおめでとうございます。
- ④子どもの考えを共感でき、（ ）受容できる保育者が求められてくる。
- ⑤悲しかった。（ ）泣かなかった。
- ⑥カウンセリング・マインドとは、子どもの気持ちを推し量る態度、（ ）子どもの気持ちを理解しようとする保育者の姿勢のことである。

ア. けれども イ. つまり ウ. かつ エ. なぜなら オ. ならびに
カ. だから

(10) 「て、に、を、は」を意識する

◎次の（ ）に、適切な助詞を下から選び入れ文章を完成させなさい。

「園長（ ）午睡の時間に入ってきた。みゆき先生は、眠っている子どもたち（ ）見ていた。それを見ていた園長が、みゆき先生の援助のしかた（ ）興味をもった。子どもを起こす時間（ ）後何分あるのだろう、と園長は掛け時計を見た。みゆき先生は、自分の腕時計（ ）時間を確かめた。園長がその時計（ ）近づくと、一人の子どもが目を覚ました。園長は、その子ども（ ）話をした。子どもは、園長（ ）胸に顔をうずめた。他の子どもたちも、タオルケット（ ）起き出してきた。」

が、 から、 で、 と、 に、 の、 へ、 まで、 を

(11) 重言（重ね言葉）は避ける・・・重言をつかうと文章が稚拙

な（幼い）表現になるので、できるだけ避ける

◎次の表現を訂正しなさい。

- ①二年間という短い期間で ⇒
- ②一番最初に ⇒
- ③約500円くらい ⇒

④各保育所ごとに ⇒

(12) 話し言葉は避ける

◎次の文を訂正しなさい。

①よしき先生は、やっぱり体調が悪そうだ。

②なんでわたしばかりが責められるのか、理解できない。

(13) 同じ語の繰り返しは避ける①・・・「こと」

◎次の文を訂正しなさい。

①保育園の方針がはっきりしないことは、保育士にとっては不安なことである。

(14) 同じ語の繰り返しは避ける②・・・「が～」「は」

◎次の文を訂正しなさい。

①この絵本には、子どもが好む色がたくさん使われている。

②子どもが顔がほころぶ声掛け～。

(15) 同じ語の繰り返しは避ける③・・・「の」は3回続けて使わな

い

◎次の文を訂正しなさい。

①保育所の設立の条件のいくつかは、～。